

環境影響評価方法書の調査項目と意見の書き方要点

調査項目

○大気質

①大気

きれいな空気の北杜市に引っ越してきたのに高速道路ができたら空気の汚れが心配

排気ガスはどのように滞留し、拡散していくのか？ PM2.5等の微小浮遊性物質などの調査もしてほしい

②騒音

騒音は現在と道路ができたとどうやって今の時点で比較することができるのか、その調査を加えてほしい

③振動

振動は道路の周囲にどのように伝わっていくのか、そのような調査も加えてほしい

○水質

地下に基礎工事をし、杭などを打つことで 地下水脈にどのような影響を及ぼすのか調査してほしい
滝枯れ、沢枯れなど、実際に行われた公共事業では散見されるが八ヶ岳南麓ではどのような調査を行うのか

井戸を使って生活している世帯が多い地域であるが、井戸への影響調査もすべき

○景観

八ヶ岳南麓特有の眺望は高速道路建設によって悪くなることは明らかであるが、眺望の調査はどのような観点で行われるのか

○動物・植物

①動物

八ヶ岳南麓では、全国でも珍しい希少種があるが、動物の移動距離などは専門家などを入れて多くの時間をかけて調査するべきではないのか、その個体の特性も踏まえて調査するべき

②植物

植物は高速道路道路によって気候が変われば植生も変わることが予想されるが、全国の事例も参考にして植生を調査すべきである

○河川

道路ができることで河川が汚染することが考えられる。

排気ガスの成分があらう流れ、またアスファルトの成分の流入も考えられる。そのような調査はどのようにされるのか

○文化財

高速道路建設予定地には、たくさんの遺跡が予想される。それらの文化財の調査、保管、管理はどのように行うのか。

意見書の書き方の参考 1

私は八ヶ岳南麓の自然と、そこから見える南アルプスや富士山、奥多摩の山々の景観が大変気に入っています。また澄んだ空気やおいしい水、木々・草花や様々な生き物に囲まれた豊かな生活環境の中で生命を維持し、生活を続けることができているので、その環境を悪化させる高速道路は八ヶ岳南麓には必要ないと思います。

■大気質調査について

方法書では、八ヶ岳南麓の自然豊かな生活環境の中に高速道路を建設することで、この地の空気にどのような影響が出るか検討することになっています。そのために大気中の二酸化窒素、浮遊粒子状物質、風向・風速を調査していますが、調査地点は「濃度変化があると考えられる個所ごとに、また代表する気象状況が得られる個所」に限定されています。これでは、高速道路を自動車が行き交うことによる大気への影響の調査としては十分とは言えません。建設予定路線全体について、大気の調査を行う必要があります。

また、調査では「環境基準」を達成すればよしとしていますが、これは間違いです。住民（別荘所有者）としては、現在の環境が中部横断自動車道の建設によって悪化することを心配しているので、その程度がどれくらいかを知りたいのです。それ故、全体の変化の状況の調査が必要と考えます。

私は（ここに住民、別荘所有者の住所や地域を入れる）に住んでいる住民（別荘を所有している者）ですが、中部横断自動車道の建設によって大気の様子がどう変わるのか大変心配しています。この地点を調査の対象に加えることを求めます。

意見書の書き方の参考2

八ヶ岳南麓に高速道路を建設することで、この地域の地下水や用水に悪影響が出ないか心配しています。

私は（私の別荘は）（ここに提出者の住所や地域を記入する）に住んでいます（あります）が、井戸の水を使って生活しています。高速道路建設によりその水が枯れたり、水質が悪化することになれば、生活に支障が出ます。

私の家の場所の井戸の現在の水位と水質を調査し、それが工事でどのように変化するのかを調査・予測してください。

意見書の書き方の参考3

「景観及び人と自然との触れ合いの活動の場」の項目について

方法書には、景観資源として42カ所、主要な眺望点として16カ所が挙げられており、これらの景観資源がどのように影響を蒙るかとか、眺望点からの景観がどのように変わるか、という検討をすることによって、景観への影響を判断しようとしています。

また、人と自然の触れ合いの場について50カ所の場が選定され、それらの場が中部横断自動車道の建設によって、どのような影響を蒙るかを検討することによって、人と自然の触れ合いの場がどうなるかを判断しようとしています。

しかしながら、この方法書の方針は誤っています。なぜなら、八ヶ岳南麓は、中部横断自動車道の沿線すべてが、景観が良好な場であり、また人と自然が触れ合う場であるからです。また景観は、八ヶ岳だけを対象とすることは許されません。なぜなら、計画路線沿線からは、南アルプスや富士山といった山岳景観も重要な景観として存在しているからです。つまり、沿線住民の見渡す四方の景観全体を対象として取り上げ、調査する必要があります。それを是非検討項目に加えてください。

また上記の選定された場だけで調査することには、もう一つの不備があります。それは、それらの場では、中部横断自動車道を近景として取り上げるケースがきわめて少ないか、無いに等しいからです。

道路の建設によって、盛土や橋桁によって景観上の影響を受けるのは、0～100m以内の住民です。すなわち、景観の変化や影響は、沿線の住民の立場に立って検討する必要があります。是非、眺望点を各集落に設けてください。

私は（ここに住民、別荘所有者の住所や地域を入れる）に住んでいる住民（別荘を所有している者）ですが、中部横断自動車道の建設によって、私が日々楽しんでいる山岳景観や自然景観がどう変わるのか、大変心配しています。つきましては私の住んでいる地点を是非眺望点に加え、さらに方法書が指定している景観資源だけでなく、私が日々楽しんでいるそれらの景観も重要な景観資源として検討することを、強く要望します。

以上の私の要望を真摯に受け止めてください。方法書が杜撰で不備の多いものとして未熟な段階で発効しないよう、方法書に対する意見を提出する次第です。